

スキー部

清水 慎太郎

こんにちは。歯学部スキー部主将の清水慎太郎です。今回、部活動紹介でスキー部について執筆する機会をいただき、ありがとうございます。

この機会に、スキー部について多くの方に知っていただけたらと思います。

スキー部では現在8人の現役部員で活動しています。現役部員が8人という「少ないな」という印象を持たれるかと思いますが。確かに人数こそ少ないですが、3月に行われるオールデンタルを1年間の目標として、充実した部活動をする事ができています。オールデンタルのスキー部門にはジャンプやモーグルは無く、競技はアルペンのみです。アルペンとは決められたコースを滑る速さを競う競技で、スキー競技の中で最もスピードが出る競技です。

スキー部は他の運動部と比べても、とても自由な雰囲気部の活です。練習や大会への強制参加はなく、自分のペースでスキーをすることができます。もちろんしっかりスキーをしたい人は部活動全体で応援してもらえます。

僕自身、1年生の時に北海道で行われたデンタルに1人で出場したところ、3人の先輩方が北海道まで応援に来てくださいました。初めての大会での先輩の存在はとても心強く、自分もこんな先輩になりたいと思ったことを今でも覚えています。

スキー部での練習は主に1月以降、水曜日の夕方から新発田市にある二ノックススノーパークでおこなっています。多くの大学では長期休みの合宿でしかできない練習が、平日の夜にできるのは新潟大学生の特権です。

また、この練習は、新大全学・医学部・歯学部・日歯大新潟歯学部のスキー部の合同練習のため、人数が少ない歯学部スキー部でも仲間やライバルができ、充実した練習をするとても良い機会になっています。

もちろん、平日練習の他にも週末の練習や、3

月にデンタル会場に前乗りして合宿をおこなったりしています。

部員が少なく大変なこともありますが、他大学のスキー部との交流の場には恵まれています。例えば昨年度、菅平（長野県）で行われたオールデンタルでは、19大学から約160人が参加しました。さらに男子は大阪大学・鶴見大学さんと、女子は朝日大学さんと相部屋にして頂きました。初対面だったので初日こそ少し辛かったものの（笑）、5日間の大会期間中に仲良くなることができ、今から次のデンタルでの再会が楽しみです。

また、スキー部は顧問の福井先生をはじめ、多くの先生方にご支援を頂いて活動をすることができます。先生方はいつも（新入部員を勧誘することができなかった年の新入生歓迎コンパでさえ）温かく、優しく私たちを指導して下さいます。

最後に、スキー部では部員を大募集しています！1年生でなくても構いません。

スキーは運動が苦手な方も楽しめますし、生涯の趣味にできるスポーツです！他の部活動を引退した方やスキーをやったことがある方ない方、新しいことを始めたい方など、少しでも興味を持って下さった方は、ぜひ、スキー部と一緒にスキーをしましょう！



デンタルでの集合写真 筆者右端

剣道部

歯学科3年 森川雄太

剣道部は、歯学部だけでなく医学部と合同で行っていて、医学部歯学部剣道部として活動しています。部員は総勢22名（1月6日現在）で、現在の3年生を中心に日々稽古に励んでおります。活動場所は、以前までは使用していた体育館の取り壊しにより、およそ2年の間、近辺の体育館施設や学校の体育館をお借りしていました。現在では、新たな体育館が建設され、その3階に設けられた武道場で活動しています。19時から21時までを月・水・金曜日の週に3回という少ない練習時間ではありますが、先輩や後輩は関係なく学生同士が互いにアドバイスをし合うなど切磋琢磨して技術の向上に努めています。

今年の歯学体の結果ですが、個人戦は男子1名がベスト16、団体戦は残念ながら男子は予選リーグ敗退に終わり、女子はベスト8まで進出しました。歯学体における団体戦は、1チームにおいて男子は一般的な5人、女子は3人によって構成されます。ただし、男子のチームのみ人数が足りない場合は女子選手の男子団体戦への出場が認められています。もちろん、男子の方が女子よりも体格や体力的にも有利ですので、人数が足りているチームは基本的に男子のみでチームを組みます。しかし、新潟大学は歯学部生の人数が少ないため男女混合のチームで出場しました。昨年は、男子3人・女子2人のチーム編成でベスト8まで進出することができましたが、今年は、男子2人・女子3人というやや無理のあるチーム編成で試合に臨みました。相手チームには、女子選手相手には男子は三本勝負で二本勝ちしなくてはならないという自尊心から発生するプレッシャーが少なからずあると思われる、当時のことを振り返るとそういった意味では相手は戦



いづらかったのではないかと思います。

歯学体の剣道部門の他の競技部門ではあまり見られない1つの特徴として、大会の日程の全てが終了したその日の晩に、とある集会在執り行われます。その集会の内容は、その大会に参加した国公立大学が一か所に集まり、盃を酌み交わすことです。これは通称、「国立飲み」と言われておりますが、世間一般ではこのことを「打ち上げ」と呼ぶのかもしれませんが。これを機に、私たちは他大学に多くの友人ができました。試合では互いに戦い、国立飲みで打ち解け、また来年一緒に剣道をしようといってその日は別れを告げます。私は今でもそこでできた仲間たちと連絡を取っていますが、今後歯科医師になった後も彼らとの関係が続くことを願っています。

剣道には「交剣知愛」という言葉があります。剣道は勝負事である以上、剣で相手を負かすことも必要であり、ときに重要視されます。しかし、我々新潟大学医学部歯学部剣道部は、勝負に勝つことと共に、先に述べた交剣知愛を胸に今後の稽古に励んでいきます。

交剣知愛：「剣を交えて“おしむ”を知る」を読まれ、剣道を通じて互いに理解しあい人間的な向上をはかることを教えたことばである。愛はおしむ（惜別）、大切にしておしむ（惜別）を意味しており、あの人とはもう一度稽古や試合をしてみたいという気持ちになること、また、そうした気分になれるように稽古や試合をしなさいという教えを説いたことば。（Weblio辞書引用）

